

第279回  
株式会社テレビ新潟放送網  
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成23年6月27日（月）午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟放送網本社会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員7人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
笠井 明	委員	吉原 浩	委員
大久保 千春	委員	田村 明子	委員
尾畑 留美子	委員		

会社側出席者

代表取締役社長	前川 磐
専務取締役（報道・制作・国際担当）	奥野富士郎
専務取締役（営業・事業・編成担当）	永原 良太
編成局長 兼 放送番組審議会事務局長	駒形 正明
報道制作局長 兼 報道部長	稲田 裕之
編成部長	中川 保彦
制作部長	小木 裕介
合評番組プロデューサー	斎藤 将彦
事務局	海津 智洋
	紫竹 聡子

## 4 議 題

### 1) 番組合評

#### 「テレビ新潟開局 30 周年記念番組

#### がんばる新潟人スペシャル」

〔放送：5月28日（土）13：30～14：25〕

（説明：番組プロデューサー 斎藤 将彦）

### 2) 会社報告

#### ①放送番組の種別公表制度と放送番組の種別基準について

（報告：編成局長・番組審議会事務局長 駒形 正明）

#### ②BPO 放送倫理検証委員会決定（5月31日）

「日本テレビ『ペットビジネス最前線』報道に関する意見」

（報告：編成局長・番組審議会事務局長 駒形 正明）

#### ③5月の視聴者の意見。 （報告：番組審議会事務局）

#### ④講じた措置、公表など定例の報告等。（報告：番組審議会事務局）

### 3) その他

## 5 審議の概要（委員の意見）

会社側から、この番組は「夕方ワイド新潟一番」の毎週木曜16時台に放送しているコーナーで昨年12月からスタートしていた企画であり、新潟出身でがんばっている人、これから羽ばたこうとしている人、有名になる手前にいる人たちを老若男女問わず取り上げてご紹介していこうとしたものであること。スタートしてから毎週違う人を取り上げながら半年になり、通常のコーナー取材ではなく、もっと深く取材したいということに

なり開局30周年記念企画として特別番組として制作したものであることなどを報告した。

●取材対象の4人の仕事が日本酒、パイプオルガン、落語、歌とバラエティに富んでおり、出身地もそれぞれ上越市、新潟市、新発田市、長岡市とバランスが取れていると思った。

●爽やかな良い番組だと思った。新潟の人は郷土愛が強いので、新潟の人が出て、活躍して、新潟の景色も出てくると年配の人を含め家族で見る人が多いのではないかと思った。

●四者四様の良い題材だと思った。4人とも現在活躍している部分と、出身の地元地域と一緒にミックスさせながら紹介しているのはとても良かった。

●ニューヨークで活躍している小林さんについては存じ上げており、現地で日本酒の人気が高まっていることや試飲会の様子などを分かりやすく紹介していると思った。小林さんが学生の頃から今に至るまでの過程の説明も分かりやすく、ニューヨークへ行って逆に新潟に対してどのように思うのかなどコメントがきちんと取れていた。

●小林さんの今の活躍に出身地元はどのように影響を与えているかというところが個々に押さえられていると満足度がすごくアップすると思った。

●小林さんについては日本酒造りというクリエイティブ側ではなく取り扱う側ということで、場面は豊富だったがどうしても人間より日本酒が主役になっている感じを受けた。

●小林さんがアメリカで新潟の日本酒を売りたいというのはどういった観点なのか。新潟県の産業振興ということか、ご自身の

ためか考えたが、小林さんは製造業の観点ではなく商業の観点で現地での日本酒の紹介をされていると思った。

●小林さんのような人たちの頑張りでアメリカだけでなく韓国含めて世界中に日本酒の市場が広がっている。日本の伝統的な文化としての日本酒への評価と認識は確実に世界中で高まっていると思った。

●石丸さんが中学生の時にパイプオルガンと出会い、りゅーとぴあのオルガン研修講座で第一期生だったという幸運さも分かったが、その頃の彼女の研鑽の日々をもっと詳しく紹介して欲しかった。またあんなに大きなパイプオルガンの練習はどこでどうやってやるのか知りたいと思った。オルガニストでも人によって作る音が違い、彼女の好きなフルートハーモニックも楽器でできるのか、演奏によってできるのか知りたいと思った。

●なぜパイプオルガンを選んだかについて、一台でオーケストラ分の音色や音量を出せるパイプオルガンに魅力を感じたというコメントは分かりやすかった。

●クラシック音楽というヨーロッパの専門分野で実績を上げ、今後も10ヶ国でリサイタルを開くという彼女が、世界に通用する演奏者になって欲しいと希望を持たせてくれる内容だった。

●夢吉さんは、前向き、明るさ、若さが伝わってきて、これから輝いていく予感を感じたし、見ている側にも勇気を与えてくれて良かったと思った。

●夢吉さんについては小料理屋の女将や師匠など周りの人たちの言葉で人物像を浮かび上がらせる手法であり、真面目で義理堅い面や、人柄の良さなどが伝わってきた。

●新発田市の実家に帰った時の祖父母を前に一席披露したり、

前座時代のアパートにそのまま住んでいたり、世話になっているお店の女将の話など心温まる内容で、夢吉さんの将来性を大いに期待させるものだった。

●これから真打までの道のりを考えれば、28歳までの下積み生活についてはもっと厳しいものがあつたはずで、その辺の厳しい実態なども伝えてくれたらよかつたと思った。

●スネオヘアさんについては正直知らなかつたミュージシャンだったので余計感じたのかもしれないけれど、他の三人に比して「頑張ってる感」が伝わってこなかつたのが残念に思った。

●スネオヘアさんが長岡出身とは知らなかつた。母校訪問では周りの雰囲気は今一つさびしい感じがした。彼には「ふるさと」というより「長岡」を語って欲しかつた。

●海外や県外で新潟出身者が様々な分野で活躍されている姿を紹介するのは良いことであり、より多くの視聴者に身近に感じてもらえるよう県内各地の出身者の方を取り上げて欲しい。

●この番組では企画の軸が大きく二つあると思った。一つは外国で勝負し、挑戦している点。もう一つは日本の文化を現代に活かすという点だ。この両軸で新潟の若い人たちが動いている姿を紹介している。結論的には「楽しく見てもらう」「未来を明るく感じてもらう」「前向きに新潟の若い人の将来を考えてもらう」、そして「若い人たちの未来の可能性を感じてもらう」という4本のポイントで編集してあり、開局30周年の局制作番組としてとても良い企画だつたと思った。

## 6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

5月……125件。

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成23年5月23日)から昨日(平成23年6月26日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

## 7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回、第278回審議会では「夕方ワイド新潟一番 報道特集 シリーズ東日本大震災」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

## 8 今回の第279回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) インターネットのTeNYホームページに議事概要を掲載します。

## 9 参考事項(委員への配布資料)

- ・5月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・5月の単発番組制作一覧
- ・民間放送新聞(5/23, 6/3, 13号)
- ・BPO報告(No. 97, 98号)

以上